

東京ミッドタウン・デザインハブ特別展  
Tokyo Midtown Design Hub Special Exhibition

伝える つなげる  
SIGN × SOCIETY × STORY



日本サインデザイン協会60周年記念

# 大サイン展

GRAND SIGN DESIGN EXHIBITION

会場 | 東京ミッドタウン・デザインハブ  
ミッドタウン・タワー 5F

入場無料 / 会期中無休

Tokyo Midtown Design Hub, Midtown Tower, 5th Floor  
Admission Free / Open Daily

4.24

金  
FRI

2026

11:00 → 19:00

最終日は16:00まで  
Close at 4pm on 6.7

6.7

日  
SUN

TOKYO  
MIDTOWN  
DESIGN  
HUB



## 01 SYMBOL シンボル

社会文化的な意味によって  
成立するサイン

約束や共有された理解によって意味が成立し、共同体の価値や理念を象徴する。シンボルとは目に見えない精神を可視化する存在だ。



## 02 ILLUMINATION 光

光源をもって  
人の心理に働きかけるサイン

光はより遠くへ情報を届けると同時に、人の心身に直接作用する。空間の印象を動的に変容させ、都市空間の静寂と活気を演出する。



## 03 PICTOGRAM ピクトグラム

人類共通の  
視覚言語としてのサイン

言葉に依存せず瞬時に意味を伝える視覚記号である。言語・文化・年齢・能力の差を越えた、誰もが同時に理解できる共通言語である。



## 04 TYPOGRAPHY 文字

もっとも高度に  
制度化されたサイン

文字は音声や意味を視覚に固定し、社会の記憶と秩序を支える。世界観や美意識を反映した、精緻な情報を正確に伝達する文化基盤だ。



## 05 COLOR 色

生存を目的とした  
生命の最古のサイン

色は本能に働きかける信号として生物界で機能していた。やがて人は感覚と社会の価値とを結び媒体として色に文化的意味を与えた。



## 06 ARCHITECTURE 建築

存在の目的と機能を内包した  
都市のサイン

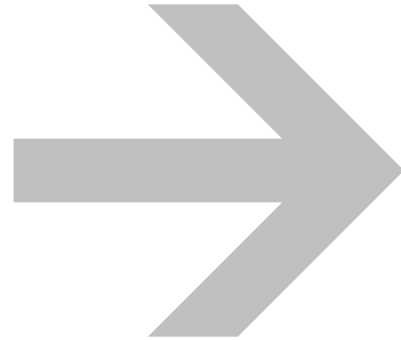
その外観は用途や理念を語るサインである。地域のシンボルか、機能のアイコンか。内観意匠は人々を目的に誘うサインそのものだ。



## 07 DIGITAL デジタル

空間を情報が  
自由に飛び交う未来のサイン

デジタルなサインは物から環境へ、静止から動的なネットワークへと進化した。未来、物質の境界を越え環境そのものを情報化する。



## 08 SPACE 空間

空間を読み解き、  
物語とルールを与えるサイン

場に潜む意味を可視化し、人の行動や感情をコントロールする。サインは対象とする空間に物語とルールを与える重要な情報装置である。



## 09 MATERIAL 素材

素材選択によって  
意味を変容させるサイン

石、木、鉄、布、プラスチック...これら物質の性質、質感や重量がメッセージの質を左右する。素材はサインの意味生成に参与する。



## 10 INSTALLATION インスタレーション

瞬間性、貴重性  
ゆえに心に刻まれるサイン

サインは時間と場所に限定された体験として立ち現れる。今だけという瞬間性、同じ空間の共有が強い印象を生み人々の記憶に残る。

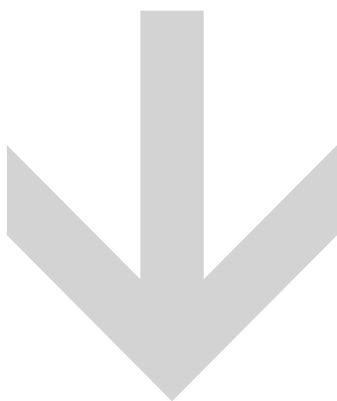
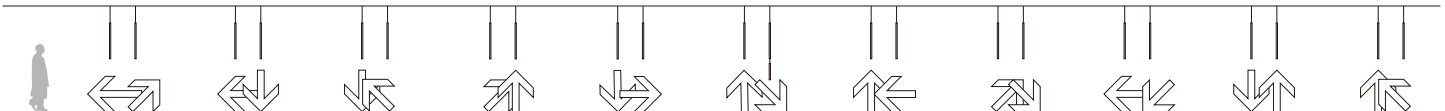


## 11 EXHIBITION 展示

場の知的体験を設計する  
骨格としてのサイン

サインは多層的な情報を統合し空間全体での理解の枠組みを構築する。展示は空間全体を一つの情報装置とした編成行為そのものだ。

# 11 CONTEXTS OF SIGNS



## サインを読み解く 11のコンテキスト／77プロジェクト

人が古来からコミュニケーションの手法として用いてきたサインの情報伝達表現の要素を、11のコンテキストに分類し、時代を彩った象徴的なプロジェクト77作品に焦点を当てそれぞれの作品のコンセプト、写真、映像、模型、モックアップなどから読み解いていきます。サインのもつ多面的な魅力と、社会との関係性の軌跡をその秀逸な多くのプロジェクトから辿ります。



SDAがこの世に生まれて60年。サインデザインを取り巻く社会環境は大きく変化し、その領域や社会的役割も案内板や誘導サイン、看板や標識といった従来の枠を超えて広がってきました。いまやサインデザインは、都市や建築、公共空間、商業環境、文化活動など、さまざまな場面において、人と人、人と場所、人と社会をつなぐ存在となっています。

こうした歩みと現在地を社会に広く伝えることを目的に、サインデザイン分野では初となる展覧会「大サイン展 伝えるつなげる Sign × Society × Story」を開催いたします。本展では、「過去・現在・未来」という時間軸を通して、サインデザインが果たしてきた役割と進化の軌跡を検証し可能性を展望します。

『環境における新しい価値観を、情報によって創出する』——これこそがサインデザインの本質です。その領域はひとつの定義に収まるものではなく、ときに境界を越えながら社会とともにかたちを変えてきました。だからこそ、そこには尽きることもない可能性と、人の心を動かす力があります。本展を通して、サインデザインの多面的な魅力をぜひご体感ください。

会場 | 東京ミッドタウン・デザインハブ  
ミッドタウン・タワー 5F 入場無料  
日時 | 2026.4.24(金) - 6.7(日) 会期中無休  
11:00 - 19:00 (最終日は16:00まで)

Tokyo Midtown Design Hub  
Midtown Tower, 5th Floor  
Admission Free | Open Daily  
\*Close at 4pm on 6.7

東京ミッドタウン・デザインハブ特別展  
日本サインデザイン協会60周年記念

# 大サイン展

伝える つなげる Sign × Society × Story



## MATERIAL-TONE

### ひとつの矢印から見えてくる、 素材と技術のグラデーション

開発の現場こそが「未来」の源泉です。試行錯誤の積み重ねから、革新的な技術や新素材が生まれ続けています。そこには開発者の情熱と執念とも呼べる力が宿っています。サイン関連10社が同一形状の矢印サインに挑み、技術開発のプロセスと熱量を壁面展示としてダイレクトに伝えます。各社の試行錯誤と創意から見えてくる、未来を切り拓くサインデザインの可能性を探求します。

【展示制作協力】

株式会社ダイカン 株式会社中川ケミカル 株式会社オオサカネーム ニチレイマグネット株式会社  
株式会社マイサ 株式会社タカショーデジテック 株式会社平和合金 まどか株式会社  
株式会社ユゴ・コーポレーション 株式会社イクイップメント・アンド・ファシリティ・デザイン



## PARCO × 五十嵐威暢

PARCOの象徴として受け継がれてきた、五十嵐威暢氏による通称「五十嵐ロゴ」。松本PARCOの外壁で実際に使用されていたネオンサイン「P」の実物を、デザインハブで公開します。あわせて、エントランスのガラス面で使用されていた、木と真鍮で制作された「五十嵐ロゴ」のドアノブも展示します。

【特別展示協力】 株式会社パルコ 五十嵐威暢美術館がぜのび



## SPECIAL EXHIBITION

HISTORY OF SIGN DESIGN

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

【SDA60周年記念シンポジウム】

## SIGNの多様性と可能性:未来への再定義

サインデザインがもつ多様性と可能性について徹底討論し、その未来を展望します。サインデザインに携わるプロフェッショナルをパネリストに迎え、それぞれが考える「SIGNとは」について発表していただきます。多様な解釈と実践を通して、現代におけるサインデザインの役割を再定義し、これからの可能性を探ります。

日時 | 5.22(金) 16:00-18:00

形式 | 会場とオンライン(Zoom)配信

会場 | 東京ミッドタウン・デザインハブ

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

定員 | 【会場参加】50名 【Zoom配信】80名 ※定員数は一般参加+SDA会員の合計です

参加費 | 【会場参加】SDA会員/一般: ¥3,300(税込)

【Zoom配信】SDA会員/一般: ¥3,300(税込)



詳細・申し込みはこちら

# 01 Symposium

【パネリスト】



宮崎 桂 MIYAZAKI Kei  
クリエイティブディレクター



廣村 正彰 HIROFURA Masaaki  
グラフィックデザイナー



宮下 信顕 MIYASHITA Nobuaki  
建築家



平手 健一 HIRATE Kenichi  
建築家・デザイナー

【モデレーター】



渡辺 太郎 WATANABE Taro  
アートディレクター

【SDA60周年記念リレーセミナー】

## SIGNの多角的研究: 未来を切り拓く連続プログラム

様々な切り口からSIGNの可能性を学ぶ連続セミナーです。未来のデザインに必要な知識を深めるため、革新的な視点を持つスペシャリストをプレゼンターに迎えます。4週にわたるリレー形式のプログラムを通して、デザインの新たな地平を開拓する学びの場を提供します。各回のテーマは独立していますが、連続して参加することで、より包括的な知見を得ることができます。

【モデレーター】平手 健一(SDA)

形式 | 会場とオンライン(Zoom)配信 ※交流会は会場参加のみ

時間 | 【セミナー】18:00-19:15(受付 17:30-) ※各回共通

【交流会】19:30-20:30 ※各回共通

会場 | 東京ミッドタウン・デザインハブ

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

定員 | 【会場参加】50名 【Zoom配信】80名 ※定員数は一般参加+SDA会員の合計です ※各回共通

参加費 | 【セミナー/会場参加】SDA会員: ¥2,200(税込)/一般: 3,850(税込)

【セミナー/Zoom配信】SDA会員: ¥2,200(税込)/一般: 3,850(税込)

【交流会】共通: ¥3,300(税込) ※参加費は各回ごと



詳細・申し込みはこちら

# 02 Relay Seminar

Day 1【図形】5.8(金)



野老 朝雄 TOKOLO Asao  
美術家

1969年、東京生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「つるなけること」をテーマに数種の制作を始め、美術建築・デザインなど、分野の境界を跨ぐ活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいた定規やコンパスで再現可能な数と数線の設計/制作も行っている。主な作品に東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレム、大名古屋ビルディング下層部ガラスパターン、TOKOLO PATTERN MAGNETなど。

Day 2【書体】5.15(金)



鳥海 修 TORINOUMI Osamu  
書体デザイナー

1955年、山形県生まれ。書体設計士、遊明朝体、遊ゴシック体、ヒラギノシリーズなど、ベシック書体を中心に150種以上の開発に携わる。2022年 ddd キャラクターで回顧「もじのうみ」を開催。著書に『文字を作る仕事』(博文社刊)、日本エッセイスト・クラブ賞受賞、『本をつくる』(共著) (河出書房新社)、『明朝体の教室』(Book & Design)がある。2024年第58回吉川英治文化賞受賞。私塾「松本文学塾」塾長。

Day 3【自然】5.29(金)



村上 祐資 MURAKAMI Yusuke  
極地建築家/NPO法人フィールドアシスタント代表

1978年生まれ。2008-2010年に第50次日本南極地域観測隊。2013-2017年にThe Mars Societyが計画した「Mars160」火星実験生活に副隊長として参加。「地球の三極」ともよばれる南極・北極・エベレストをはじめ、これまでに積み重ねてきた極地での生活経験は1000日を超え、2021年から内閣府宇宙開発利用加速化戦略プログラム(通称:スターダストプログラム)に参画。月面・火星有人探査時代を見据えた、宇宙生活を支えるシステムの研究開発と検証を行っている。

Day 4【デジタル】6.5(金)



豊田 啓介 TOYODA Keisuke  
建築家/東京大学生産技術研究所特任教授/NOIZ

1972年、千葉県出身。1996-2000年、安藤忠雄建築研究所。2002-2006年、ShoP Architects(ニューヨーク)を経て、2007年より東京と台北をベースにNOIZを拠点として設立。2016年に酒井康介が加わる。大阪・関西万博2025誘致会場計画アドバイザー(2017-2018年)、建築情報学会副会長(2020年-)、大阪コムグラウンド・リビングラボ(2020年)、一般社団法人Metaverse Japan 設立理事(2022年-)。2021年より東京大学生産技術研究所インテラスペース研究センター特任教授。

【主催】公益社団法人日本サインデザイン協会 <https://www.sign.or.jp>

【共催】東京ミッドタウン・デザインハブ

【後援】経済産業省/公益財団法人日本デザイン振興会/日本商工会議所/公益社団法人日本サイン協会/一般社団法人日本屋外広告業団体連合会/一般社団法人日本空間デザイン協会/一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会/一般社団法人日本商環境デザイン協会/一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会/公益社団法人商業施設技術団体連合会/公益社団法人全日本広告連盟/公益社団法人日本アドバイザーズ協会/公益社団法人日本グラフィックデザイン協会/特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会/公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会/公益社団法人日本インテリアデザイナー協会/公益社団法人日本パッケージデザイン協会/公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団/株式会社日経BP/株式会社アクセス

【協賛】株式会社中川ケミカル/株式会社ダイカン/株式会社びこう社/株式会社オオサカネーム/株式会社アール工房/日本サイン株式会社/株式会社フレンズ/株式会社新陽社/株式会社KOYAMA/株式会社丹青社/ニチレイマグネット株式会社/株式会社乃村工藝社/株式会社マイサ/株式会社イクイップメント・アンド・ファシリティー・デザイン/株式会社平和合金/株式会社ユポ・コーポレーション/株式会社タカショー・デジテック/まどか株式会社/株式会社八幡ねじ/GKデザイングループ/株式会社クリエイティブダイワ/株式会社東京システック/株式会社エーアイサイン/株式会社スズオカ/株式会社ブンカ巧芸社/株式会社研創/スタッフナインハット株式会社/藤田産業株式会社/株式会社デコラム/株式会社シーエスエイ/有限会社平野遼太郎デザイン研究所 他

【企画/デザイン/ディレクション】公益社団法人日本サインデザイン協会

【展示制作/施工】日本サイン株式会社

【問い合わせ先】SDA 事務局: [sda@sign.or.jp](mailto:sda@sign.or.jp)

TOKYO  
MIDTOWN  
DESIGN  
HUB



【会場】東京ミッドタウン・デザインハブ

〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1

ミッドタウン・タワー5F

- ①都営地下鉄大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
- ②東京メトロ日比谷線「六本木駅」より地下通路にて直結
- ③東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約8分

Tel | 03-6743-3776

Mail | [info@designhub.jp](mailto:info@designhub.jp)

URL | <https://designhub.jp>

DesignHub\_Tokyo

designhub.jp